

新飯能

発行 党 議 員 団
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401
山田とし子
973-4710
新井たくみ
978-0175
滝沢おさむ
972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

耐震補強と改修で多額の費用が

改められて問われる「庁舎別館建設」

市役所本庁舎の耐震診断結果が議会全員協議会に示されましたが、6月議会閉会後にさらに詳しい説明がありました。

震度6強で崩壊の危険

耐震診断結果によると、震度6強(官庁は拠点施設となるため一般基準に對して更に1.25を乗じた数値を適用)の大地



震に對して、耐震性能判定値に合格したのは、5階部分と地下のみで、他については補強が必要との判断が下されました。

市は、「埼玉県建築物耐震改修促進計画に基づいて計画する。合併特別債を起こせる期限が、平成26年までであることから、平成25～26年の間に着工するために、実施計画に位置づける予定」としています。耐震補強工事だけで、概ね2～3億円、併せて改修工事も実施したいとして

いるので、さらに数億円の工事費用が増額になる見込みです。

県は建て替へから耐震工事へ

市役所庁舎の耐震化は当然必要とは思いますが、

問題は庁舎別館建設との整合性です。

日本共産党は、別館建設にあたって、「防災の拠点施設だといって6億円近くもかけて別館を建てるなら、埼玉県が県庁建て替え計画をやめて、耐震補強に切り替えたように、本庁舎の耐震補強・

改修という総合的な検討こそ必要ではないか」と指摘しましたが、まさに指摘通りになりました。

10年ほど前に4億円で購入した第2庁舎は、教育委員会、上下水道部が移動したことで、圧倒的な部分が物置になっています。これまでの市役所庁舎整備計画が、いかにかきどきの思いつきであつたかがわかります。

学校耐震化は計画的に

なお、学校の耐震化については、補強未実施校舎が、小学校で南高麗小、東吾野小、双柳小の3校。中学校で一中、西中、原中、加治中の4校となつており、計画的に進めていく方針です。

適正な規模の施設整備を

飯能市児童クラブが市と懇談

既に本紙でも報じ、また、滝沢議員も議会一般質問で取上げた、大規模児童クラブの解消について、飯能市児童クラブの会が、6月23日、市の子ども家庭課と懇談を行いました。

数は1施設あたり40名程度が望ましいとして、71名以上の大規模施設は2010年から全ての補助金を削減するとしています。大規模児童クラブでは新設や分離を行わないと運営ができません。国は児童クラブの児童

50周年記念の原水爆禁止国民平和大行進にご参加を!

”核兵器のない世界を!”と核兵器廃絶を訴えて全国を歩く国民大行進が、今年で50周年を迎えました。この記念すべき平和行進に、飯能年金者組合の柴崎・鈴木さんが14日から20日まで埼玉県境の上武大橋から、県内行進に参加します。国民平和大行進に大勢の皆さんの参加をお願いいたします。

日時 7月8日(火) 午前10時
ところ 飯能市庁舎前
コース 市役所～中央通～広小路～銀座通り～飯能駅前ロータリー～東銀座通り～佐瀬病院～土木事務所まで

主催 原水爆禁止飯能市協議会



71人にこだわらず適正な規模に

この日の懇談では、国や

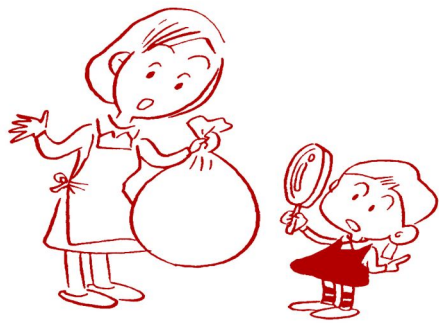
児童クラブの会に加盟している児童クラブは6施設ありますが、現在、富士見児童クラブが76名で今までの推移を見ても、新設や分離を進める必要がありません。市は、年間平均で71名以上在籍している施設は整備を行なうとしています。一、小、加治、原市場、双柳などは、年度により児童数に変化があり、約2年後の児童数の把握は困難です。

子どもたちが大事にされる児童クラブに

児童クラブは、放課後の子ども達にとって家庭と同じ役割をする場所です。安全安心と共に、子どもたち1人ひとりが大事にされる保育環境が必要で、市はそのための条件整備をすべきです。

波 紋

初めてあけびが小さな実をつけました。葉の色も同じなので、最初はなかなか見分けがつかせませんでした。そのあけびの子が日に日に大きくなり、今日はしっかりととした細い雨にぬれています▼先週の「新飯能」の文化欄、文化欄ができたというの、もたいしたものですが、名栗の佐藤さんの「ピラ配り戻る袋にえんど豆」という俳句がありました。アンケートを配った帰りに、ご苦労様とえんど豆をいただいたものなのでしようが、こんなピラ配りができたら楽しいなと思ってしまう。その名栗からも多くのアンケートが寄せられています▼「赤旗」に渡邊白泉の「戦争が廊下の奥に立つてゐた」の「立つ」は目の前に見えなかつたものが見えてきたという意味だという千曲山人氏の文が載っていました。それでも十分解釈は成り立つのですが、機密保持のために「廊下に歩哨を立て、戦争の元凶たちが、この廊下の奥で額を寄せ合っていて、話し合っているという鮮烈なイメージ」という中村裕氏の解説の方が妥当のように思えます。



ごみの資源化・減量化の現状は?

問 現在、平成18年から10年間の「飯能市一般廃棄物処理基本計画」にもとづいて、市と市民の協力のもとで、ごみの資源化・減量化の取り組みがおこなわれている。この間、雑紙の回収、ペットボトル、プラスチックごみの分別収集を行ったことで、資源ごみが増え、可燃ごみが減った。ペットボトルや



金子としえ市議

ごみ減量の取り組み順調 21年のごみ有料化は見送り

金子としえ市議の一般質問

トレーなどのプラスチックもきれいに水洗いされて、質の良い資源となっている。この間の市担当課の努力とそれに応える市民の協力と、大変いい状況ではないかと感じている。現状はどうか?

答 19年9月からプラスチックの分別、合わせて雑紙、紙パックの分別も実施した。この間、説明会を13会場のべ26回、集積所・自治会など小規模な出前講座を60回以上実施してきた。大きなトラブルもなく順調なスタートが切れた。平成18年と19年の比較では、ごみの総量は、1712ト減っている。

内訳は、可燃ごみがマイナス2308ト、資源ごみはプラス638トで、ごみ総量に占める資源ごみの割合は23%となった。あくまでも2年間の比較だが、今後長期的に見ていきたい。

市民の協力で減量の推進に努力

さらには市は、ごみ減量化の一方策として、来年21年には「家庭ごみの有料化を実施」するとしているが、こんな市民の熱心な協力のもとで減量化が進んでいるのに、どうしても実施するとい

うのか?

答 「飯能市一般廃棄物処理基本計画」でも、処理方法等、総合的に判断し、平成21年度に方向性を決定することとしている。国では平成17年5月「廃棄物処理法」が改正され、「一般廃棄物処理の有料化をはかるべき」と追加された。このことは市町村でも原則的には、「有料化すべき」と方針が打ち出されたものと理解している。

市民の要望取り入れた図書館に

新図書館を考える講座・懇談会が22日、市役所別館で開かれました。

この講座は、飯能市が今年度「新図書館基本計画」を策定するに当たって、識者の講演と参加者の意見を求める場として3回予定されています。

一回目は朝霞・鶴ヶ島市立図書館長の大澤正雄氏が「図書館は何をするところ?」と題して、朝霞・鶴ヶ島の図書館の様子をパワーポイントで紹介しながら講演しました。

2部の懇談では、図書館建設担当から、「現在

のこども図書館が10周年を迎え、全国的にもすばらしい図書館と視察も多い」とした上で、新図書館建設にあたって、児童コーナーの可否が協議会でも問われている。皆さんの御意見も聞かせてほしいとの提案がありました。

「児童コーナーではないくきちんとしたもの。大人と一緒に方がいいのは当然」「こどもは大人の小型番ではない、是非、今のまま残してほしい」。

また、年間利用者数は約2万5000人程度、報

告があり、子ども図書館は駐車場の関係で利用者が制限される。新図書館との距離があり親子で利用するには、特に幼児のコーナーが必要である。新図書館にいけない人もいるので、各公民館の図書コーナーは分館として充実してほしい。という意見も出されました。

次回は7月6日(日) 講師は今回と同じで大澤正雄氏です。

3回目は7月13日(日)で、講師は藤原孝一氏(H17年図書館建築賞受賞・設計士)です。

議会代表者会議で、「議会のあり方研究会(仮称)」を設置することが合意されました。この研究会は、各会派から1名を選出し、議会の活性化、開かれた議会などを議論するために設置することが合意されました。

しかし、定数削減などを議論したいとの意思の議員もおり、真に市民のための議会はどうかあるべきかの議論が求められます。

執行部の提案に、なんでも「異議なくし」と叫ぶだけでは、議会のチェック機能は果たせません。また、活性化のためという口実で、議員定数を削減する議員がいますが、6月議

「議会のあり方研究会」が発足 チェック機能を高め、民主的運営の場に

会では一般質問をした議員が21名の議員のうち、6名(内4名が日本共産党)。通常でも8〜9名程度です。勿論、議会だけが議員活動の全てではありません。各種委員会や各種の市民行事への参加、市民相談など総合的なものであることは言うまでもありません。

定数削減の動きが全国的にあることは事実ですが、行き過ぎた定数削減で常任委員会の運営など支障をきたしているところも出ています。

入間市の4倍以上の面積を抱える飯能市の議員定数が人口規模だけでははかれないのではないのでしょうか。

文化欄

●財テクに背中を向けて泥田這ふ
橋本金吾



●ふたたびの年金天引き梅雨の雷
●地震の地の岩魚いちごを守らんと
佐藤志づえ

金吾さんは庭に句碑を作りました